



市報

発行所 佐賀県鳥栖市役所 1部 5円

昭和35年12月21日第3種郵便物認可

2月

毎月1回10日発行

(昭和41年2月10日発行 第130号)

一部の校区を変更

4月の新学期から一部の学校区が変わること。理由は距離が近いことと、通学に安全なため地元の要望があり市教育委員会で検討していた。変わるのは次の2地域。

◎元町第17班(10世帯)は鳥栖小学校区から鳥栖北小学校区へ ◎松原町7班(22世帯)は基里小学校区から田代小学校区へ。

所得税の確定申告は 2月16日から3月15日まで

申告所得税の確定申告の時期が近づきました。期限内に申告をしなかったり、遅れたりすると本税のほかに無申告加算税を徴収されますから期限は守ってください。また、納税も期限内にすまないと延滞金が徴収されたいへん不利です。

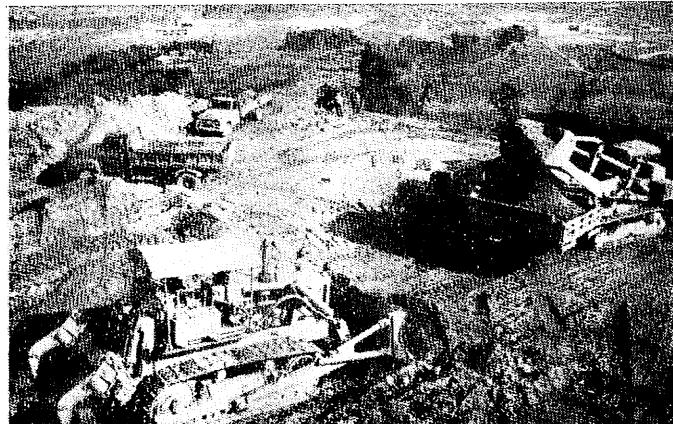
本年もみなさんの便宜をはかるため、3月上旬に所得税(税務署)、

鳥栖市ならびに周辺の町村が、内陸工業地帯として発展するにつれて商業活動が活発となり、鳥栖高等学校的商業科は志望者がふえ、41年度は5学級260人の定員となっております。

今後は700人くらいに定員をふやす必要があると思われます。

そこで、このような普通高校の商業科ではいろんな面から満足されなくなり、独立の商業高等学校の設置が強く要望されるに至っています。

鳥栖市議会では昨年9月、設置の要求書を知事と県教育委員会へ提出し、さらに11月、本市と三養基郡内の町村が一体となって設置期成会を



事業税(県税事務所)、住民税(市役所)の合同納税相談を行なうことになっています。ぜひこの機会をご利用ください。混雑をさけるためあらかじめおいでいただく日時を通知いたしますから万障お縁合わせのうえ指定日においてくださるようお願いいたします。

作りました。会長は安原市長、副会長は大坪三根町長、楠鳥栖市議会議長、岡三根町議会議長となっています。

期成会はすでに数回にわたり陳情を続け、とにかく地元県議会議員には設置促進に動いてもらっています。現在のところ、商業高校設置の必要は認められたようですが、実現にはさらに努力が必要です。

「高校進学者はすべて市内高校でまかなえるように」という基本的な考え方で市民各位も関心を持たれ、ご協力いただきますようお願いいたします。

鳥栖商業高等学校設置期成会

御野立所に 上水道の配水池

昨年末着工した上水道工事はいま、朝日山に配水池の建設工事を進めている。きれいにならされた標高82メートルの御野立所(おのだちしょ)の地下に水4,500トンを溜める配水池ができる。御野立所の記念碑は横の方に移された。(写真は御野立所から麻木町方面をのぞむ)

還付金を受けるための 確定申告は早目に

源泉徴収税額などの還付を受けるための確定申告は鳥栖税務署で1月1日から受け付けています。ご承知のように例年3月は一時に多数の申告書が提出されるため、相当混雑すると思われますから、還付を受けるための確定申告書は早目に提出してください。

市民の動き (1月1日現在)

人口			世帯数
総数	男	女	
+40	+38	+2	(+31)
44,731	21,371	23,360	9,831

上段は前月との比較

原町でニューカッスル病発生 鶏や卵などの移動を禁止

1月26日原町で鶏のニューカッスル病（伝染病）が発生。市農林課と県中部家畜保健所は、市役所内に対策本部をもうけ、伝染の疑いのある鶏約500羽をじんかい処理場で焼却した。また伝染を防ぐため原町、姫方町、幡崎町、曾根崎町、桜町の各町からは鶏、卵、鶏ふん、羽毛、飼料、関係のある器具などの移動をいっぱい禁止している。

鶏舎は清潔に

このほか、市内の養鶏場を回り、鶏舎や鶏の状態を調査したが、鶏舎の完全でないところや、ふんをため

たままにしているところが多く、病気の発生、伝染が予想されるところがあるの

で注意をうながしている。ニューカッスル病の病原体は、高温には弱いが低温には零下20度までに耐え、地下にもぐると数年は生きる。

空気中にも飛んで いる病原体

感染経路は、病鶏のふんや分泌物の中の病原体がエサや飲み水といっしょに健康な鶏の口に入る。また鶏

舎の空気中にも病原体が飛んでいて鼻や目やコウモンからはいる。このほか、人、飼料、ネズミ、スズメ等によって運ばれるとくに廃鶏業者との取り引きは鶏舎から離れた所で行ない、鶏舎への出入りにはクレゾール等の消毒液を使うように対策本

タイヤも念入りに消毒される

部ではいつている。養鶏でもつとも恐れられているのがこの病気。厳重な注意を怠るまい。



鶏舎を出るときは足もとを消毒して



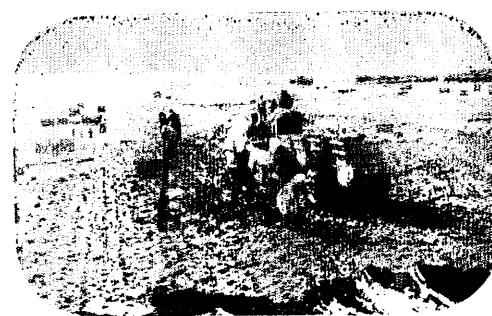
原町に立てられた移動禁止の立札

儀徳と藤木では場整備

市土地改良区（安原謙市理事長）の40年度事業は、昨年12月から始まっている。今年度は、藤木地区の一部と儀徳地区の圃（ほ）場整備工事。儀徳地区はこしし初めての工事で41年度まで2ヵ年継続事業となっている。

ほ場整備は、農地を60アール～150アールのブロックに整然と区分けする工事で、分散している1戸分の農地を1ヵ所に集める。同時にコンクリートの用排水路と幅2メー

トル～4メートルの農道をめぐらすので耕運機などの農業用機械は非常にいりやすくなる。



藤木地区は23ヘクタール、儀徳地区は36ヘクタールの整備で総事業費は5,827万円。そのうち2,544万円は国、1,498万円は県が補助し、残額を市と関係農家262戸が負担することになっている。

ところで、この工事期間中関係農家の人は労働者として働くことになっているが、こしあは秋の天候不順で農作業が遅れているため、今のところ工事の人手不足ということで、土地改良区では心配顔だ。

写真は儀徳町で



市と5農協共催による初の農業祭が1月12日と13日、中央公民館、市民集会所、実験農場等で行なわれ、ミカンや水稻多収穫共進会等の入賞者表彰式があり、126人3団体を表



キメこまかな苗しろ管理

苗しろ共進会で読売賞を受けた高田町の松隈耕三郎さん(67才)は、開口一番「何ごとも努力が必要です」と次のように話してくれた。

苗しろを作る時はまず種をまく前に苗田の消毒をしておかないと5センチぐらいのびたとき根を虫にやられる。また、水はいつもヒタヒタ程度で時々ほすと強い苗ができる。カエルがいるときは、夜の間水をほしておくのがいちばん。

種まきは、坪あたり3合ぐらいで分けつした大きな苗より、小さくても強い苗を作り4、5本づつ植える方が株が小さく収穫が多い。

松隈さんは苗しろの時期は毎日2回は見回り、よい苗こそ多収穫への道とくふうをこらしている。



畑苗しろで得た多収穫

水稻多収穫で読売賞を受けた下野町の古賀孝平さん(41才)

古賀さんは近所の人たちから「ぬらいぼう(なまけもの)」といわれている。そこで本人に聞いてみると、「私は病弱だから仕事を合理的にやっているからでしょう」ということだ。昭和20年から23年まで旭中の先生、24~26年まで病気のた

影した。上位入賞者は次のとおり。

ぶどう立ち木 1等=牛島博道(幸津) 2等=酒井実三(原) 井上吉治(蔵上) みかん立ち木(幼木) 知事賞=岡恒美(江島) 2等=今村敏己(平田) 斎藤一之(古賀) 高田一夫(平田) 中島弥男(村田) 同 (成木) 読売賞=竹下静夫(山浦) 2等=岡恒美(江島) 古賀一男(三島) 豆田一郎次(立石) みかん(早生) 知事賞=米倉今朝一(立石) 2等=野口亀夫(同) 豆田一

郎次(同) 牛島勇一(同) みかん(晩生) 読売賞=浅野秀儀(立石) 2等=久保寛(江島) 牟田政子(立石) 岡恒美(江島) 渡辺信義(同) 苗しろ 読売賞=松隈耕三郎(高田) 1等=寺崎勝次(江島) 松雪清次(酒井東) 久保幸雄(永吉) 水稻多収穫 読売賞=古賀孝平(下野) 1等=松隈紀夫(高田) 村田文夫(村田) 仁田常一(古賀) 久保山貢(原) 伊東哲夫(平田) 農政功労者 有馬義則(高田) 久保佐太郎(永吉) 久保山博(原) 内田虎雄(山浦) 古賀貞雄(三島)

(カット写真は農業祭表彰式)

め床に伏したが、その間に東大の農業講座の通信教育を受け、無から米作りを始めただけに、失敗をくりかえしようやく今の方法を考え出した

それは水引の苗しろでなく、畑苗しろ式にして、田に植える1週間ぐらいい前に水引をする。田植は横1尺とたて4寸5分の並木植にする。

入賞者に聞く

消毒は2回から3回多くするという方法。地力をつけるために麦はつくらず、ワラは全部田へ返した方がよいということだ。



よいブドウ作りがいちばんの楽しみ

ブドウ立ち木で1等を受けた幸津町の

牛島さん

牛島博道さん(58才)

は、牛や米作りにも熱心で何回も表彰を受けた実績の持ち主。10アルカリありのブドウ園を持ち、ブドウ組合の組合長でもある牛島さんは、年1回ブドウの産地を視察に行ったり、各組合員宅での講習会を開くなどなかなかの研究家。牛島さんの話によると、土質と肥料が肝心だ。奥さんと2人ぐらしで、よいブドウを作って、地元の人たちからよろこばれるのが一番のたのしみと話していた。



一にも二にも土いじり

みかん立ち木(幼木)で知事賞を受けた江島町の岡恒美さ

岡さん 岡恒美さん(37才)は成木で2等、早生みかん出荷で3等、晩生みかんで2等とみかんの部では全部に入賞している。

現在1ヘクタールに約1,000本を植えているが、「土に生きるなら土をいじれ」という言葉どおり、土地をよく耕して空気の流通をよくしてやらなければ、いくら肥料をやっても、木は養分を取ることはできない

これだけのことを根気よくやっただけですと岡さんはいっている。これで、普通4~5年かかるて実をつけさせる木に3年で成木として実をならせた。



よく選んで出荷

みかん共進会で知事賞を受けた立石町の米倉今朝一さん(44才)は別に人と変わった方法はとっていないがと前おきして「みかんの木が6年目になったときから3年間ステを入れたので、甘みがつきよかつたのでしょう」といっている。

また出荷するときは、玉を選び少しでもよい品質のみかんを送るよう心がけている。



「成人」「はたち」といわれても、ツーともカーとも感じない私である。従って皆様にひろうする程の抱負など持ち合わせていない。実に始末の悪い不良成人なかもしれぬ

成人したら、確固とした考え、行動をせよと世間では決まり文句のようにいってはいるが、20才という時間的な区切りで思考行動が一変するわけではあるまい。

一体成人とはいかなる意味を持つのか疑問に思う次第である。聞いたような祝辞をあれこれいだいても別に感じることもなし。選挙目当ての国会議員さんの祝電まで聞かされると「くそっ！あんたなんかに投票するもんか」という

暗中もさく

気にもなってくる。
現在の国会を見ても、これといった、魅力ある人はいそうにもない。日韓条約の採決等のあの議会ならぬ醜態を見ると全くヘドが出る。私共と同じく、ようやく成人

となった日本の民主主義政治を、これからおとなに成長させてゆく

のは、われわ

れ自身だとい
うことは百も承知はあるが、具体的にはどうすればよいかということになると暗中摸(も)索の未熟者である。

生来のひねくれ者が独りよがりの暴言を並べましたが、この根性を見抜いてか、手相見の婆さんが「あなたの人生は浮き沈みが激しい」といった。せいぜい沈みっぱなしの人間にならぬよう努力はしていきたい。

平田町 楠田泰彦（九大学生）

のびのびと

鳥栖市のこしの成人は585人（男276人、女309人）終戦っ子のため例年より200人近く少い。市では例年通り1月15日中央公民館で成人式を行い、記念にアルバムを贈った。



成人式を迎えて、昨日の自分とは別に変わっているはずであるのに、踏み出しちゃ1歩に

1 票へ

は、何か緊張を感じる。

戦後20年を

経た、日本にも早戦はないといわれる時代に、僕たちは日本の政治、社会の変遷と共に成長してきたが、果して僕たちの周囲は正常な進歩をしているだろうか。テレビ新聞のニュースが伝える日本の政治の現状はどうだろう。乱闘国会の怒号、罵(ば)声。今まで

和服の友がたいへんおとなにみえた。市長さんは、和服は平和を意味する点で結構なことだとおっしゃった。終戦の年に生まれ今日こうして無事にいるのが不思議なくらいに種々の社会事象の渦の中に親の庇護をうけ、まわりの人の優いの

中に今日の自分のあるのがうれしかった。成人式では明日を荷なうべく闇志を燃やす若者として激励の言葉をいただいた。すくなくとも参会者は自分の未来に新たな希望をいたいたと思う。ある人は得がたき理想にむかってますますファイトを燃やすかもしれないしまたある人は一時的な感傷で終るかもしれない。

成人の日に

人間は何にも
しないでも考え
ないでも生きて
いけない事はない。この潜在的

な心理が人間の



意志を弱めることにもなりかねない。お

との世界が要求する自信とか信念とかは自己の気がまえを根底にいろんな経験、体験がつみ重ねられて生み出されるものだと思う。

確たる信念のない現在であるけれども「己の欲せざる事を人にはどこすことなかれ」の精神は失いたくないと思っている。——1月15日に思ったこと。

村田町 三角恵子（鳥栖中教員）

戦時に生まれた私も20歳になりこの初春に成人式を迎えたことは、大変うれしいことです。でおとの仲間入りができたことになり、選挙権も得たのであります。

私は家庭電気器具のサービスマンとして働いていますが、電気は正面悪い所があればすぐ症状が現れます。時にはわかりにくい故障あります。その時は長い時間かけてじっくりやるように、投票する時も候補者の演説をよく聞き直で、明るく平和な市、県、Eを築く人を選びたいと思う。まさのような世の中をわれわれま

生活

若草のように

その1ページ目には安原市長が成人に贈る次の言葉がしるされている。

「のびのびと若草のように、満刺として若鮎のように、強く正しく巨木のように」

ただそれを、おどろき悲しみ憤って見るだけであったが、きょうからは僕のこの手に1票があるのだ。僕の1票に僕の願いと祈りをこめて投じそのだ。

の責任
成人として僕にもし責任を感じますかと聞かれるとすれば、それはこの1票の価値だけである。現在僕は昼間は九州電力で働き、夜間は鳥栖工高の生徒として半分はおとな半分は子どもの生活であるが、成人の日をポイントに、自分の生活をしっかりみつめてみたい。

田代本町 林 忠行（九州電力
鳥栖営業所勤務）

者が築いて行きたいです。
われわれを苦労して育ててくれた親や祖父



母に、成人したいま孝行し

てやるべきだと思う。この先、山を征服するときのように一歩一歩前進したい。途中には苦しいこと悲しいこともあるはずだ。私はそれに負けず、社会には暖い心で接し、体は強く生活は正しくやって行きたいと思う。

原町 久保山茂宣（佐賀東芝家庭サービス）

正しく

ラジオやテレビの雑音は螢光灯、

個人として、認められる日がきた。この日を機会に私は次の3つを柱にしたい。

第1に自主性を持ちたい。何ごとも核心まで掘りさげて自分自身の意見を持ちたい。他人の意見を聞いて共感するのはよいが附和雷同では困る。

自分なりの意見を持って人

の中にいる、そうすれば必ず公理公論がわかり、最大公約数の意見が納得できるだろう。

第2は、考えたらそれを実践に移したい。「言うは易く行なうは難し」といわれるが、机上の理論だけではどうにもならない。実践なくして向上は不可能である。

第3には、常に明朗快活であり

たい。表裏の多い現代を、明るく生きることはむずかしい。今までの浅い生活経験の中でも、苦しいことや悲しいことが多すぎた。そんな時

明るい面を見つめてゆけば深刻になる必要はないと思う。さわやかな笑顔の毎日が欲しい。

考へてみると、どれも当然のようだが、むずかしいことのようもある。しかし、若い者らしく勇気をもって前向きに突進していくたい。

本町 小野美道子（中村栄養短大学生）



前向きの姿勢で

本町 小野美道子（中村栄養短大学生）

今村佐一郎さんら表彰

1月19日の県社会福祉大会で、民生委員として功績のあった次の人がとが表彰された。

知事表彰 今村佐一郎氏（藤木町）鳥飼熊治氏（幡崎町）古賀行江氏（儀徳町）中島チヨノ氏（立石町）
県社会福祉協議会長賞 足利イワヨ氏（藤木町）

危ない野犬

近ごろ野犬が多く、人畜に被害を与えてています。

◎子犬を捨てるのは野犬養成と同じことですから、保健所（電話2161番）か市衛生課（電3111番）へ連絡して引きとてもらいましょう。◎飼犬が死んだり行方不明になったときは、衛生課へお知らせください。◎犬の放し飼いは人に迷惑をかけますから止めましょう。

ラジオ・テレビの
雑音をなくそう

ネオン、バイクの点火栓などいろいろのものから出ます。これをなくすにはこれらの機械器具に雑音防止器を付けるとよいのです。

雑音にならんでいる方は、市商工課、商工会議所、九州電力、ラジオテレビ店などへご相談ください。
(佐賀県雑音防止協議会鳥栖支部)

無縁墓地の改葬

墓地整備のため無縁墓地が改葬されます。縁故の方は届け出てください。

1墓地の所在 福岡県八女郡広川町大字日吉字北山の下194番地と同町大字日吉字熊添509番地

2届出期日 2月28日

3連絡先 福岡県八女郡広川町大字日吉367番地 丸山孫市

県勢要覧の予約募集

県統計協会は40年版の県勢要覧を3月上旬に発行します。気象、人口、産業等あらゆる統計を掲載し、1部300円。希望者は市役所の広報統計係へお申し込みください。

40年中の火災

モミ乾燥機から6件も

昨年1年間に市内では24件の火災が発生し39年より1件多くなった。特徴としてはモミ乾燥機によるものが6件もあり最高となったことだろう。次いで炭火の不始末が4件、プロパンガス、タバコ、火入れ中の火の不始末が各2件、あとはストーブ、たき火、アイロンなどによるものが1件づつ続いている。

全焼家屋が6棟となっているがモミ乾燥機によるもの1棟のほか、石油ストーブ、アイロン、タバコの不始末などが原因となっているのでくれぐれも注意が肝心。罹災世帯は12世帯、人員は54人、負傷者も消防団員1人を含めて5人となっている。

まだ、損害総額は846万円に上っているが、これは40年度予算に計上している、固定資産税のおよそ10分の1にあたる。ことしも数回、火災が発生し幸い大事にはならなかったが、これから春の乾燥期にかけておたがいに、十分火の用心を心掛けよう。



放火にご注意

1月24日京町、東町一帯で夜7時30分から10時ごろにかけて連続放火事件がありました。犯人は小郡町からきた12才になる少年で、おじぞうさんにあげてあったマッチを持ち出し、面白半分にやったといっています。

冬は空気が乾燥しているうえに夜は人気が少ないので、こうした事件が起きやすいのです。紙くず、かんなくず、ガソリンなどは早めに処分してください。また納屋などには燃えやすいものが入っているのでカギをかけておきたいもの。また、子どもにはマッチを持たせないようにしてください。

出で式の分列行進

消防の意気みせた出で式

消防出で式は1月9日鳥栖小学校運動場で行なわれた。午前8時に鳥栖保健所前に集まつた団員347人と消防署職員26人は、鳥栖小学校と鳥栖北小学校の鼓笛隊約300人の先導で市中行進して会場へ入場した。

8時30分開式。鳥栖警察署長、市議会議長、議員、区長など列席する中で、閲団、分列行進、表彰、5秒放水などが行なわれ、消防団の意気込みのほどを見せた。なお、入場や分列行進の伴奏音楽には鳥栖中学プラスバンド30人が一役かった。

この日の表彰は次のとおり。

永年勤続して退団する人へ ◎消防長官賞=原茂（第1分団特設本部）◎市長賞=江見多久一（第3分団本部）◎消防団長賞=大石政見

（第2分団第1部）ほか67名 協力団体と個人 ◎市長賞=三島町に保里部落、・江崎新（村田町）、陣内清次（同）、渡辺久之（同） 無火災の町へ市長賞=松原町 優良部と団員へ市長賞=第1分団本部、第3分団本部

日山一馬（第1分団本部）松隈陽夫（第1分団特設本部）、樋藤政則（第2分団本部）、山下久生（同）、宮原武雄（第3分団第2本部）、野下義雄（第3分団本部）、羽根富男（第4分団第1部）、野口長希（同第2部）、古沢正義（第5分団本部）、陶山善彦（同）

基里地区に農村集団電話

農村集団自動電話が1月18日基里地区に開通した。この電話は、最近電話を希望する農家が多くなったため電々公社が、とくに39年から実施している制度。

市内では、基里地区が初めてで、加入者は437戸。他の地区でも要望があるので、鳥栖電報電話局では順次架設していく予定である。

農村集団自動電話は、電話局との間にもうひとつ自動交換設備がありこれから各戸までの電話線は8戸ないし10戸が共同で利用するが、電話

番号はそれぞれ異なった番号がついていて効用は一般的の加入電話と何ら変わりない。基里地区は基里農協に自動交換設備が作られた。

ところで、この農村集団電話を入れて市内の電話普及率は22.2%で、5軒に1台というところだが、基里地区だけは44.7%と2軒に1台に近い高い普及率となった。

電話機はいつもきれいにコードはねじらないで



今月から、鳥栖駅により、を市報に掲載させていただることになりました。みなさまの旅行の参考までにご利用いただければ幸いと存じます。どうかご愛読ください。

鳥栖駅長

団体旅行も特急や寝台で

団体旅行でも急行や特急の座席指定または寝台が利用できます。25名以上ですと運賃割引も受けられますが、関西や関東行きは、列車によって人員に制限があります。

国民健康保険の療養給付のおしらせをみなさんに出しあしてから2ヵ月たちました。係への問い合わせが毎月50件以上あります。

その中からおもなものを拾いますと、

1 久留米医療養給付のおしらせ、好評

大と市内のある病院で、支払った一部負担金と相違があるとの申し出があり、調査しましたところ、どちらも医療機関の取りすぎであることがわかり返されることになりました。

2 田代地区のある区長さんは「今まで医師にかかる一部負担金を払っても、保険でいくら負担されるのかピンとこなかった。それがこのお知らせでよくわかり、保険への理解が深まります」といっています。

このままではまた赤字

本市の国保は4,000世帯、1万4,000人の医療保険を扱っておりますが、医療費は毎年毎月どんどん増加しております。毎月市が負担する給付費を39年と比較してみると、40年は月平均123%にふえ、10月と11月は150%に近づいています。このような状態が続くと、せっかく黒字になった国保財政も40年度で大きな赤字になるのではと懸念され、41年度ではさらに保険税を引き上げねばならないと考えられます。

ムダな医療受けまい

この際医療機関および薬局も被保

また、九州管内の急行、準急の座席指定は40名程度を1団としてお引



き受けできます。

いずれにしても、団体旅行のご計

画は早いほどよく、遅くとも2週間ぐらい前に、お申し込みいただくとよい手配ができます。電話は2020番です。

新幹線で富士五湖・伊豆へ

富士五湖、伊豆半島、三原山へ東海道新幹線ご利用の周遊旅行はいかがですか。第1班は3月3日から同9日まで、第2班が3月4日から10日まで。各班120名。会費は3万1,000円です。くわしくは鳥栖駅内の旅行相談所へおたずねください。電話は2279番です。

險者である市民も、むだな医療を受けないよう診療について今一段の誠実さをお願いしたいと存じます。

医療給付お知らせは事務的には大変な量ですが続けますから診療費または支払金額

に不審な点があつたら遠慮なく国民健康保険係へ問い合わせてください。

なお歯科については保険でできない診療部門がありますからご注意ください。

国民健康保険への切換えは急いで

ご承知のように去る36年4月1日から国民皆保険の制度ができて、国民は国民健康保険、職場の共済健康保険や日雇保険のいづれかに必ず加入しなければならないことになっております。

儀徳の遊園地に ブランコと鉄棒

儀徳町住宅区(森光正登区長・101世帯)の遊園地に、昨年11月ブランコと鉄棒ができた。この遊園地は39年8月、同団地に近い肥前旭駅前の市有地約4,158平方メートルを借り受けて以来、父兄の奉仕で着々と整備されており、今度できたブランコ(4

ところが勤め先を退職して社会保険を離れた方で、国保に加入していない方がおられるようです。また大変な病気(例えばガンなど)になってから急いで加入される方もあるようです。このようなことは自分の住家が火災になってから急いで火災保険料を払い、保険料をくださいといふようなもので、どう考えても許されることではありません。

健康な時に加入して病気の時に給付を受けるのが医療保険の立て前であると思います。

皆さんの周囲に国保に加入しなければならない方で未加入の方はおられませんでしょうか。国保ではまだいま調査を進めておりますが、このような方は急いで加入の手続をしてください。この場合保険税はある程度さがのぼって課税されることをあらがじめご承知ください。

市民課国保係

連) 1基と鉄棒4基のほかにすべり台、シーソーがある。ことしは、遊園地の周囲に木を植える計画。



儀徳遊園地のブランコ

